

戦略的国際共同研究プログラム(SICORP)

国際産学連携 日本—スウェーデン共同研究課題

「高齢者のための地域共同体の設計やサービスに関する革新的な対応策」

## 募集説明会

# 戦略的国際共同研究プログラムについて

*Strategic International Collaborative Research Program, SICORP*

平成28年8月19日(金)

国際科学技術部



科学技術振興機構

# 科学技術イノベーションのグローバル化

## JSTの国際展開

途上国との共同研究  
**SATREPS**

先進国との共同研究  
**SICORP**

先進国を中心とした研究交流  
**SICP**

48カ国・地域

戦略的創造研究推進事業  
研究成果展開事業、等



JST - Your Partner Worldwide

グローバル化の加速、新興国の躍進

国際活動の戦略的推進  
— 先進国・新興国別基本戦略 —

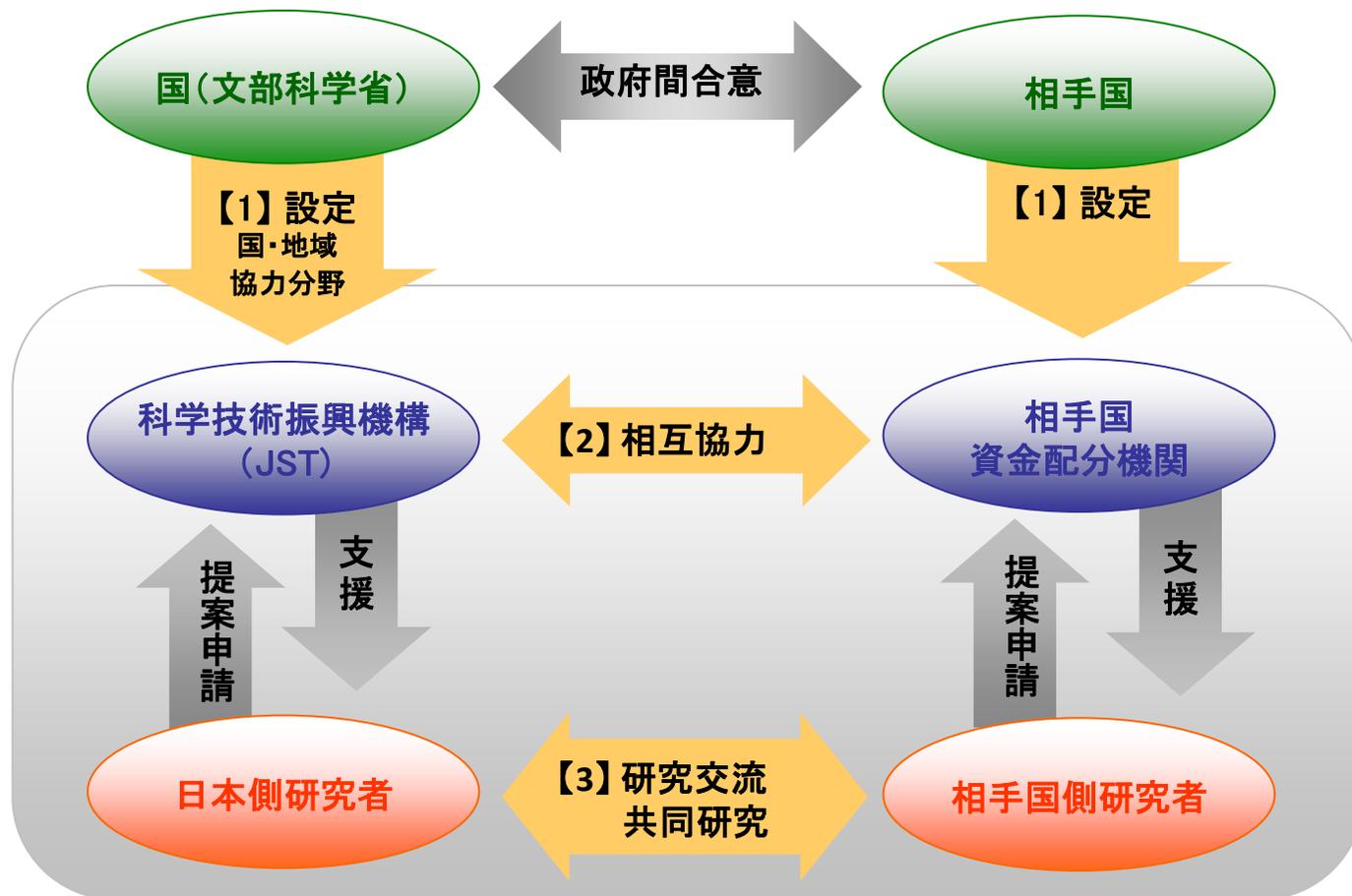
科学技術外交の強化

科学技術イノベーションの加速

- 海外のポテンシャル(特に新興国)を活用
- 頭脳循環の促進

# 戦略的国際共同研究プログラムとは

我が国の優れた研究成果を世界に発信することを視野に入れ、我が国の競争力の源泉となり得る科学技術を、諸外国や地域と連携することにより相乗効果を発揮させ、相互に発展させることを目指して、競争的資金事業として平成21年度から実施しています。



# 公募ワークフロー

日本

相手国

JSTと相手国資金配分機関  
公募分野・公募条件

JSTによる公募

相手国FAによる公募

日本側研究者によるJSTへの提案申請

共通内容

相手国側研究者による相手国FAへの提案申請

JSTによる審査

相手国FAによる審査

審査結果を交換し、双方で高い評価を得た課題を選定

双方の合意に基づき、採択課題を決定

JSTによる日本側研究者への支援

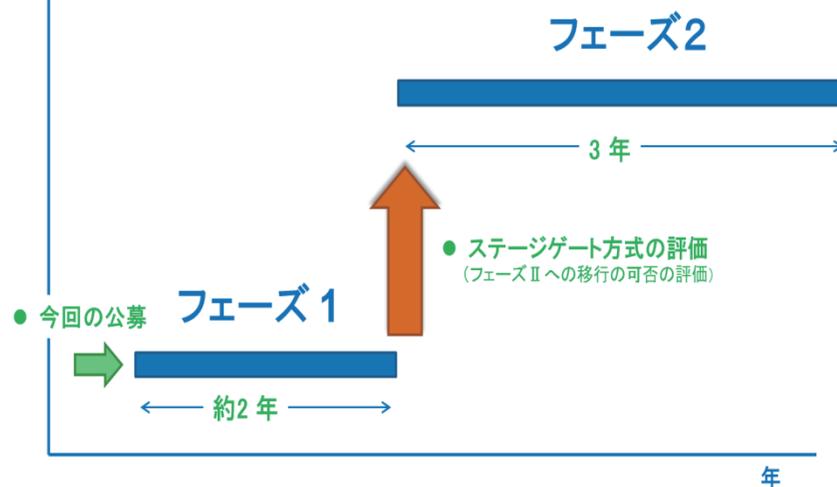
相手国FAによる相手側研究者への支援

# 戦略的国際共同研究プログラム(SICORP) 国際産学連携 日本-スウェーデン共同研究課題の募集 「高齢者のための地域共同体の設計や サービスに関する革新的な対応策」

本公募は、日本の産学連携チームとスウェーデンの同様のチームが国際的な産学連携の体制を築いて、高齢社会における新たなイノベーションの実現を目指すものです。

日本側、スウェーデン側のソリューション（例：革新的な機器、サービスやコミュニティのデザイン）を統合させるなどして、そのアイデアの革新性、有効性を確認します（フェーズⅠ）。その後、そのソリューションが高齢社会の実環境で機能することを示します（フェーズⅡ）

支援規模



## 本公募はフェーズⅠの募集です。

## 戦略的国際共同研究プログラム(SICORP) 国際産学連携 日本-スウェーデン共同研究課題の募集 「高齢者のための地域共同体の設計や サービスに関する革新的な対応策」

ステージゲート方式の評価の結果に基づき、フェーズⅠ（約2年間）からフェーズⅡ（3年間）への移行が認められれば、長期間にわたるシームレスな開発が可能となります。

ステージ名	フェーズⅠ（今回の公募） （フィージビリティスタディ）	フェーズⅡ （実証試験）
JSTの適用事業	SICORP国際協力加速タイプ	SICORPコンソーシアムタイプ
支援期間	約2年間	3年間
	2017年1月1日～2019年3月31日	2019年4月1日～2022年3月31日
研究開発費 の総額	日本側1課題あたり（30%間接経費含） • 1,300万円/期間（650万円/年）  スウェーデン側1課題あたり • 2.0million SEK/期間 （およそ2,390万円/期間 1SEK=11.97円）	日本側1課題あたり（30%間接経費含） • 9,000万円/期間（3,000万円/年）  スウェーデン側1課題あたり • 6.5million SEK/期間 （およそ7,780万円/期間 1SEK=11.97円）
採択予定数	6件まで	1～2件
公募	2016年度中に1回	フェーズⅠの事後評価（2019年1月～2月）により採択し、公募は行なわない。

※フェーズⅠの成果を評価（フェーズⅡへの移行の可否の評価）した結果、革新性、有効性があると認められた課題については、フェーズⅡの課題として更に3年間支援。

## ■ 応募要件

- ✓ 日本の産学連携チームとスウェーデンの産学連携チームの共同応募が必要。
- ✓ それぞれに産学双方からの参加者が含まれていること。
- ✓ 医療、創薬、疾患など医学研究を中心に据えた提案は本公募の対象となりません。

## ■ 申請方法

- ✓ 日本側とスウェーデン側が共通の英語版申請書を作成。
- ✓ 日本側のプロジェクトリーダー（研究代表者）はJSTに申請（eRAD）。
- ✓ スウェーデン側のプロジェクトリーダー（研究代表者）はVinnovaに申請。
- ✓ JSTとVinnova双方で同じ提案書の申請が確認されない場合は、審査の対象になりません。



# 【事務事項説明】

国際科学技術部



科学技術振興機構

# 選考プロセス

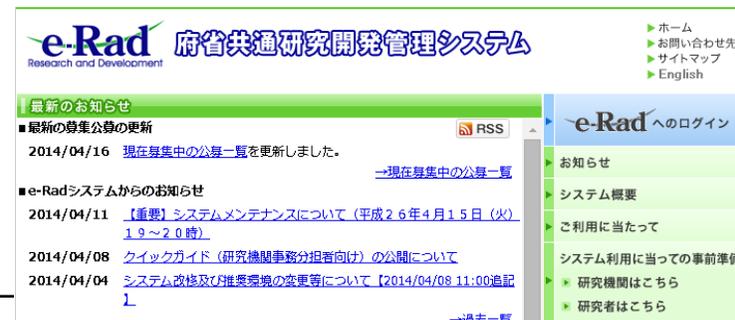
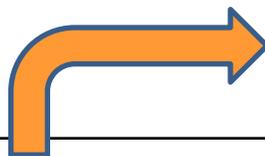
最新の情報は提案募集のHPをご参照ください。

提案書締切	日本側:10月11日(火)午後5時(厳守)
書類選考、審査	10～11月
面接選考会	なし
採択の通知	12月中(予定)
研究開発開始	2017年1月上旬(予定)

- 一人の方が研究代表者として応募できる提案は、1件のみです。

# 応募方法・関連書類の入手方法

応募は、府省共通研究開発管理システム(e-Rad)から行ってください。



<p>募集要項 及び 提案書の提出</p>	<p>府省共通研究開発管理システム ( e-Rad ) ホームページ  <a href="https://www.e-rad.go.jp/">https://www.e-rad.go.jp/</a>  <b>※研究代表者、研究機関はあらかじめ登録が必要です。</b></p>
<p>募集要項 及び 最新情報</p>	<p>JST国際科学技術部 提案募集ホームページ  <a href="https://www.jst.go.jp/inter/program/announce/sicp/announce_sw_Vinnova1st.html">https://www.jst.go.jp/inter/program/announce/sicp/announce_sw_Vinnova1st.html</a></p>

# 応募に際しての注意事項

## 1. 提案者(プロジェクトリーダー(研究代表者))の要件

- 実施者を統括し、リーダーシップを持って研究開発を推進できること。
- 実施期間中、研究開発全体に責任を負えること。
- 国内の機関に所属していること。
- 所属する法人とJSTが委託研究契約の締結ができること。
- 不適正経理に係る申請資格の制限等に抵触していないこと。

## 2. 実施機関の要件

- 関連する法令や各ガイドラインを遵守し、研究開発を効率的に実施するよう努めなければなりません。
- 応募に際して、研究開発を予定している実施機関の事前承諾を得てください。

# 応募に際しての注意事項

## 3. 研究倫理教育に関するプログラムの受講・修了について

提案者(代表者のみで可)は、応募時に、研究倫理教育に関するプログラムを修了していることが応募要件となります。

### (1) 所属機関におけるプログラムを履修済み

e-Radの応募画面で修了していることを申請してください。

### (2) 所属機関におけるプログラムを履修していない(実施されていない場合を含む)

a. 過去JST事業等でCITI Japan e-ラーニングプログラムを修了している場合

e-Radの応募画面で修了していることを申請してください。

b. 上記a以外

CITI Japan e-ラーニングプログラムのダイジェスト版を受講してください。

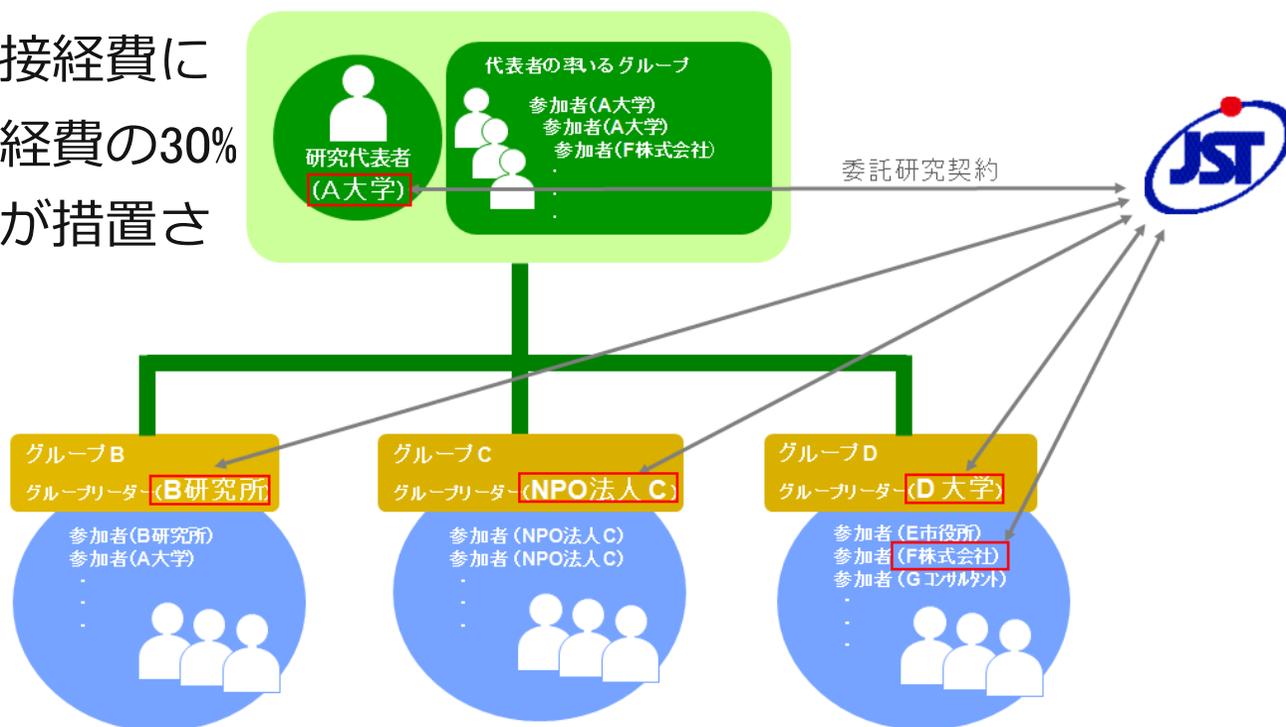
そして、e-Radの応募画面で、修了証番号(Ref#)を記載してください。

※募集要項の「日本側応募者への応募にあたっての注意事項」もご覧ください。

# 委託研究費の執行

- 委託研究契約に基づき、JSTは日本側プロジェクトリーダー（研究代表者）および主たる実施者の所属する機関により執行。
- 原則、研究開発費の発生する機関と委託研究契約を締結します。

- 研究開発等にかかる直接経費に加え、原則として直接経費の30%を上限として間接経費が措置されます。



# 研究開発費の主な用途

プロジェクトの実施に直接必要な経費

項目	支出対象および留意点
物品費	新たに設備・備品・消耗品等を購入するための経費
旅費	研究代表者・主たる実施者や研究計画書記載の実施者等の旅費、当該研究の遂行に直接的に必要な招聘旅費等
人件費・謝金	人件費: 実施者(研究代表者・主たる実施者を除く)の人件費 謝金: 講演依頼謝金等
その他	研究成果発表費用(論文投稿料等)、機器リース費用、運搬費等

※当該研究開発の第三者への再委託はできません。

詳しくは、「委託研究契約事務処理説明書」をご参照ください。  
( <https://www.jst.go.jp/inter/> )

# フェーズ I の研究管理、評価

1. 研究主幹、アドバイザーは、研究開発の進捗状況や成果を常時把握し、研究開発計画等にフィードバックします。
2. JSTとVinnovaの方針に基づいて、中間評価、成果報告会、フェーズ I の事後評価（ステージゲート評価）を行ないます。
3. フェーズ I 支援開始後、およそ2年後に研究主幹、・アドバイザーによるフェーズ I の成果を評価（フェーズ II への移行の可否の評価）を行います。

# お問い合わせ

国立研究開発法人 科学技術振興機構  
国際科学技術部 事業実施担当（スウェーデン担当）

**E-mail : [jointsw\(at\)jst.go.jp](mailto:jointsw(at)jst.go.jp)** (at)を@にしてください。

**Tel. 03-5214-7375**（電話受付：10:00～12:00・13:00～17:00／土日祝除く）

※原則としてメールでお願いします。

※e-Radの登録・操作方法については、**e-Radヘルプデスク**  
Tel. 0570-066-877（9：00～18：00／土日祝除く）

[直通はナビダイヤルをご利用なれない場合のみ限り]  
Tel. 03-6631-9595（直通）



**Thank You  
for Your Attention**



**科学技術振興機構**